

AFTER THE NEW ORDER



KATSURAO COLLECTIVE

MON **10.2 THU - 10.5 SUN**

9:30-20:30

最終日のみ 9:30-18:00

ONLY ON THE FINAL DAY

せんだいメディアテーク

1F オープンスクエア

SENDAI MEDIATHEQUE

1F OPEN SQUARE

ARTISTS

赤坂 有芽

AKASAKA YUME

阿部 浩之

ABE HIROYUKI

斎藤 英理

SAITO ERI

永井 文仁

NAGAI FUMIHITO

橋本 次郎

HASHIMOTO JIRO

山口 諒

YAMAGUCHI RYO

入場無料

ADMISSION FREE

主催 葛尾村 Katsurao Village

実施 Katsurao Collective (一般社団法人葛力創造舎)

※本企画は葛尾村より「令和7年度葛尾村アーティスト移住・定住促進事業」を一般社団法人葛力創造舎が受託し実施しています。

AFTER THE NEW ORDER

Katsurao Collectiveは、2011年3月11日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により、一時的に村民が村外への避難を余儀なくされた葛尾村を舞台に、創造力を基点とした地域コミュニティの創出、関係人口および移住者の増加を目指すプログラムです。本企画では、「After the New Order」というタイトルのもと、滞在したアーティストの視点を作品を通じて垣間見ることがを試みます。本展に出演するアーティストは、プログラムを通して村に滞在する中で、一見すると元通りの生活を取り戻しているように見える地域の中にある、複雑な現状に向き合いました。

震災から14年が経ち、この村でアーティストやクリエイターたちは何と対峙したのでしょうか。彼らの表現を通じて、現在の地域について考えるきっかけとなれば幸いです。



赤坂 有芽 AKASAKA YUME

《土着 [Vernacular] のための習作》

2009年 東京藝術大学大学院美術研究科 絵画専攻 修了
村でのフィールドワークを通じて、村民から語ってもらった村の歴史や慣習、行事、個人的な思い出などを集めた。作家が村におとづれて感じた微かな違和感を、「滅多に開かなくなった本の集積のイメージ」に重ねている。

上映時間：4分50秒



阿部 浩之 ABE HIROYUKI

《window, our wind》

1985年 栃木県生まれ。武蔵野美術大学大学院修了。
地域にかつて生きた人や現在に伝えられる物を現在から読み解きなおし、その物と言葉との関係を再び立ち上げることを目指している。近年では、今を生きる人と過去に生きた人とをつなぐリンクを探りながら、言葉と物が交わる領域に注目して作品を制作している。

上映時間：18分20秒



斎藤 英理 SAITO ERI

《新しい木を探す》

1991年 福島県生まれ、東京都在住。
滞在中の村内で、夜間に運ばれる巨大なブレードを目にしたことをきっかけに制作したエッセイフィルム。風力発電施設の建設によって変わりゆく風景を記録しながら、自身の不安や過去の記憶と重ね合わせた。その土地に生じる変化と、復興の過程で生まれる時間感覚のずれに着目している。

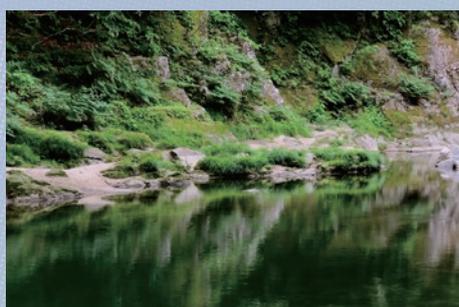
上映時間：17分10秒



永井 文仁 NAGAI FUMIHITO

《ひかりをすくう -Drawing the Light of Katsurao-》 《HIYAMA20241012》

2004年 大阪芸術大学写真学科卒。
トラックの荷台をカメラに改造し、村の光を直接大判印画紙に写しとった。その技法から得られる無限の解像度を通して、全村避難で5年間もの間、人がいなくなった村の風景の中の違和感を切り取った。



橋本 次郎 HASHIMOTO JIRO

《Katsurao Song / 村のうた》

サウンド・レーベル / プロジェクト「ZEIT」(ツァイト) 主宰
その地の風土を背景とした象徴的な音を組み合わせる。村の豊かな自然の音に加え、葛尾三匹獅子舞や宝財踊りといったその地の文化を象徴する音を拾いながら、ひとつの「うた」として再構成する。

上映時間：7分16秒



山口 諒 YAMAGUCHI RYO

《かさなること / かご馬についてのリサーチ》

2020年 東京藝術大学大学院美術研究科 グローバルアートプラクティス専攻 修了
葛尾村には、顔に墨を用いて化粧をした男児が練り歩く「かご馬(籠馬)」という行事があった。この化粧を描くことで作者は行事を追体験しようとした。

上映時間：8分20秒

